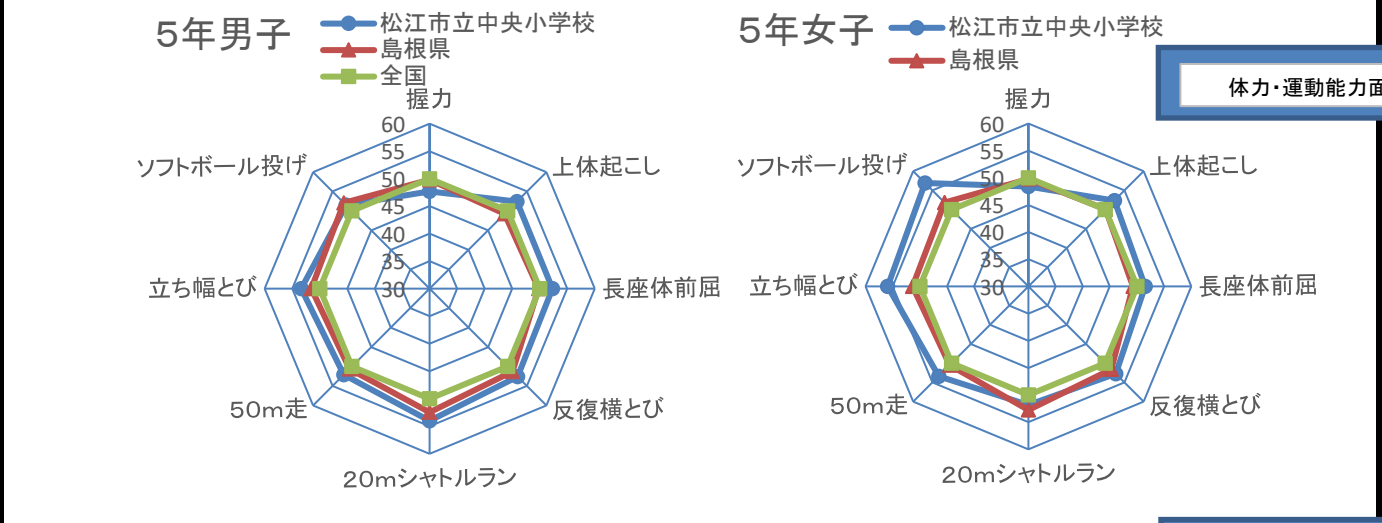
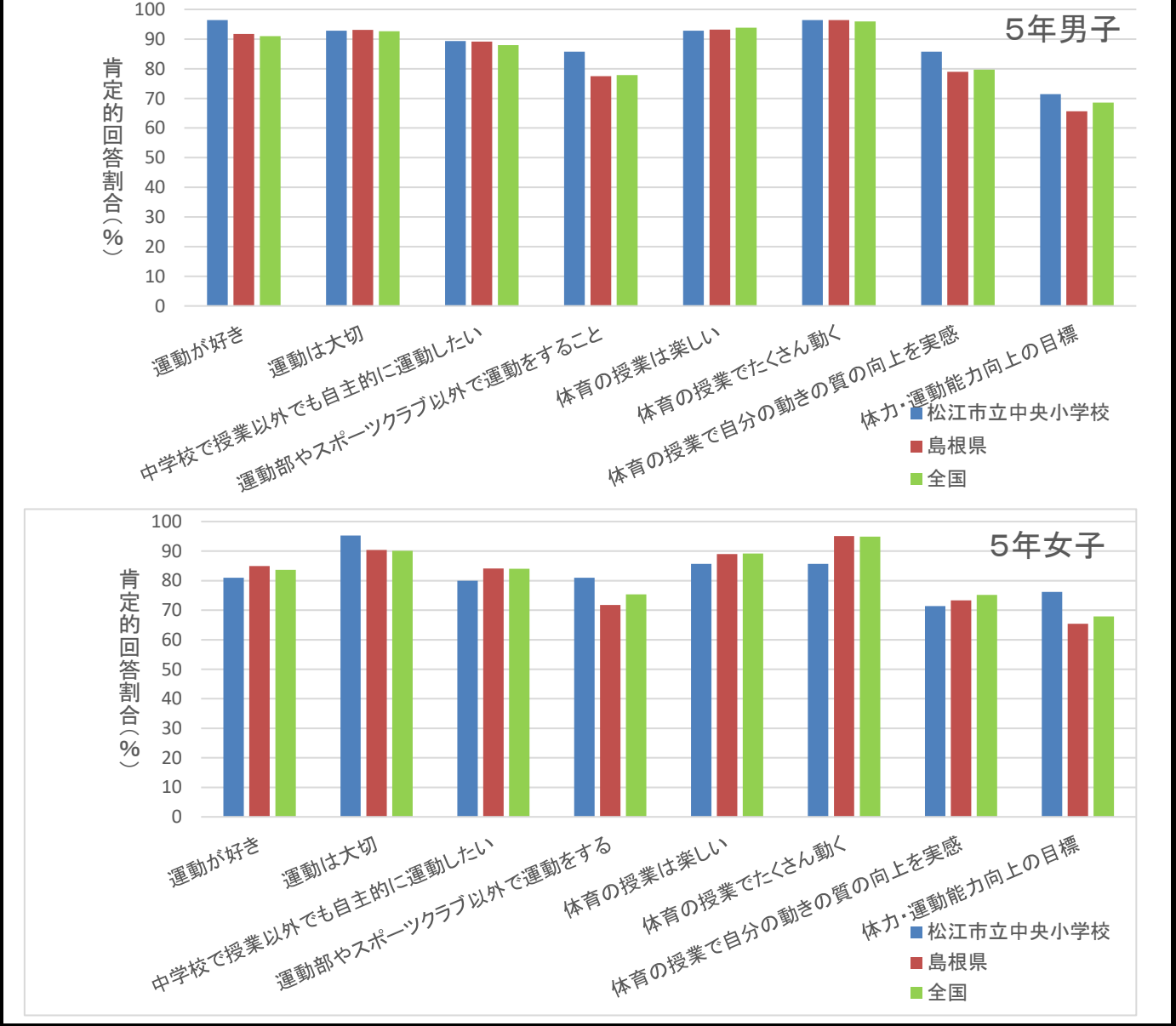


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



①体力・運動能力面
強み
○男子では「上体起こし」「立ち幅とび」が全国平均を上回っている 特に「筋持久力」「瞬発力」が強みである。 ○女子では「ソフトボール投げ」「立ち幅とび」が全国平均を上回っている。特に「投力」「瞬発力」が強みである。
課題
●男子では「握力」が全国平均を下回り、「筋力」が課題である。 ●女子では「握力」において全国平均を下回り、「筋力」が課題である。
次年度の対策
○ボール運動や体づくりの学習を中心に、投げる練習が繰り返し経験できる活動を取り入れる。 ○休み時間にも投げる練習ができる環境をつくる。(ロープとバトン) ○学期末に各学年で体育の学習の成果と課題を分析し、次学期、次学年につなげる。

②意識面
強み
○男子では「運動が好き」「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」の割合が全国平均よりも高い。 ○女子では「運動は大切」「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも高い。
課題
○女子では「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○引き続き体育の学習におけるめあてやふりかえりの場をしっかりと設定する。 ○自分に合った目標設定やスモールステップの学習を通じて、動きや質の向上を実感できるようにする。 ○友達やチームの仲間と考えたり、励ましたりする場面を意図的に設けながら、思考力の向上や運動の楽しさを味わえるようにする。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・年度初めに本校独自の実践の一つである「中央っ子エクササイズ」の研修を実施。
- ②体育科授業の工夫・改善について
・学期末に体育の授業のふりかえりカードを作成し、次学期の指導に生かす。
・4月の体力調査の結果をもとに各学年で目標を設定し、指導に生かす。
- ③体育授業以外の活動の工夫について
・昨年同様に今年度も例年通りの実施、開催はならなかったものの、本校の取り組みである「のびのびタイム」「チャレンジタイム」「ちゅオリンピック」「中央っ子エクササイズ」を引き続き実施していく。また、チャレンジタイムで活用しているチャレンジカードの内容をさらに精選し、各学年と共通理解しながら実践していきたい。
・年度初めに業間マラソンを実施する。
・校舎内や校庭の環境整備。器具の安全点検。
・食の学習ノートを効果的に使い、学校給食センターとも連携し、食育を推進する。
- ④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・体づくり部で定期的に体づくりの成果を発信する。
・運動会を保護者の方に体づくりの成果を発表する場とすることで、保護者地域の方へ啓発を行う。
・学校保健委員会の中で、地域・学校・家庭が本校児童の生活や運動習慣についての実態や課題を共有する。
・メディアコントロールウィークの継続的な実施と保護者との連携を通して、生活や運動習慣の意識付けや改善を図る。